

冬のタンポポ？

冷たい北風が吹き抜ける遊歩道で背中を丸めて歩いていたら、純白の綿毛の固まりに出会いました（写真①）。思わず「冬のタンポポだ！」と叫んでしまいました。しかし、よく見てみると、茎の頂上に1つだけ丸い綿毛を付けるタンポポとは違い、この植物には茎に無数の綿毛が付いていました。記憶をたどると、10月中旬ごろ、確かこのあたりに“アキノキリンソウ”が咲いていたはず（写真②）。当時撮影した写真と比べてみると、花の位置と綿毛の位置がほぼ一致しました。“冬のタンポポ”の正体はアキノキリンソウの綿毛でした。

アキノキリンソウは、秋に黄色の美しい花を付けますが、その花が夏に咲く“キリンソウ”に似ていることからこの名前が付いたようです。花が泡立つように咲くので、“アワダチソウ”という別名もあります。

名前がよく似ている“セイタカアワダチソウ”は海外から持ち込まれた帰化植物で、晩秋に日本中に群生しています。セイタカアワダチソウとアキノキリンソウは、同じキク科アキノキリンソウ属ですが、本家のアキノキリンソウはあまり知られておらず、山裾にひっそりと咲いています。

そういえば、タンポポも日本の在来種は減り、帰化植物であるセイヨウタンポポが広く分布するようになりました。なんとか日本古来の種を絶やさないう、自然を守っていきたいものです。



森	の
日	記

楽しい秋の遠足
10月16日(木)



山岡小学校1年生のお友達は、ローラー滑り台や舟型アスレックなどで十分遊んだ後、「ヒツジさ〜ん！こっち、こっち！私の草が一番おいしいよ！」と草を摘んでは、プレゼントをしていました。他にも、市内外からのたくさんのお友達が陶史の森で楽しく遊んでいました。

きのこ観察会

10月19日(日)

キノコ博士から「柄(軸の部分)が縦に裂ければ食べられる”ナスと一緒に煮れば大丈夫”などの迷信を信じてはいけません」という話を聞いた後、陶史の森でキノコ採集。採集したキノコ一つ一つの名前や毒の有無などを教えてもらいました。これで安心しておいしいキノコが食べられますね。



教室のご案内

12月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
12月21日(日) 午前9時~11時30分
初冬の野鳥を観察します。

平成27年1月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
1月25日(日) 午前9時~11時30分
真冬の野鳥を観察します。

冬季は木々の葉っぱが落ちていたので、野鳥と出会う機会が多いですよ。ぜひご参加ください。双眼鏡を無料で貸し出しています。

お知らせ

12月28日(日)~1月3日(土)は、休園します。

